

画面データにマクロを少し追加して、アレンジしてみませんか!?
 今回は『マクロでひと工夫 !! -Part1-』と題して、アラーム用のオーバーラップを縮小したり、元のサイズに戻すアレンジをご紹介します。
 ぜひ、ご活用ください!!

オーバーラップの縮小表示

アラームが発生すると、アラーム画面をオーバーラップ表示していませんか?

オーバーラップ表示は便利な反面、表示中はうしろの画面操作ができなくなります。

表示したアラーム用のオーバーラップを一時的に縮小したり、元のサイズに戻せたら便利だと思いませんか?



アラームを縮小化したり元のサイズに戻したりできないものか…???

アラームが発生するたびに、操作画面が隠れてしまう…。

マクロでひと工夫!!

動作イメージ

マクロを追加して、オーバーラップ (アラーム表示) を縮小します。
 また、縮小させたアラーム表示をタッチすると、元のサイズに戻して表示します。



必要なときに拡大、別の操作をするときには縮小させたら便利だな。

マクロでいろんなアレンジができるんだ!!

裏面へつづく

マクロをひと工夫すれば、貴社ならではの画面に仕上がります!!
標準機能を応用して、貴社独自の画面作成にお役立てください!!

画面構成

The screenshot shows three main areas:

- オーバーラップライブラリ No.0**: Displays an alarm message 'アラーム発生' (Alarm Occurred) with a '縮小' (Minimize) button. Below it, it shows 'スイッチアドレス \$u150-00 (セット)' (Switch Address \$u150-00 (Set)).
- オーバーラップライブラリ No.1**: Displays an alarm message 'アラーム発生中' (Alarm Occurring) and 'スイッチアドレス \$u150-00 (リセット)' (Switch Address \$u150-00 (Reset)).
- バッファリングエリア設定**: A settings panel for buffering area. It includes options for '形式' (Format) set to 'アラーム' (Alarm), 'サンプリング方式' (Sampling Method) set to 'アラーム表示' (Alarm Display), 'サンプリング周期' (Sampling Cycle) set to '0 sec', 'メモリ' (Memory) with '連続' (Continuous) selected, 'データ長' (Data Length) set to '1ワード' (1 Word), and 'ワード数' (Word Count) set to '1'.

マクロ設定

1. マクロブロック(登録項目⇒マクロブロック)

```

IFZ($u00150-00) (B)
IF($u00100 != 0) (W)
  $u00200 = 0 (W)      オーバーラップID No.
  $u00201 = 0 (W)      オーバーラップライブラリNo.
  $u00202 = 150 (W)     X座標
  $u00203 = 100 (W)     Y座標
  SYS (SET_MOVLPL) $u00200
ELSE
  $u00200 = 0 (W)      オーバーラップID No.
  $u00201 = 0 (W)      動作 (0 : OFF、1 : ON)
  SYS (OVLPL_SHOW) $u00200
ENDIF
ELSE
IF($u00100 != 0) (W)
  $u00200 = 0 (W)      オーバーラップID No.
  $u00201 = 1 (W)      オーバーラップライブラリNo.
  $u00202 = 640 (W)     X座標
  $u00203 = 0 (W)      Y座標
  SYS (SET_MOVLPL) $u00200
ELSE
  $u00200 = 0 (W)      オーバーラップID No.
  $u00201 = 0 (W)      動作 (0 : OFF、1 : ON)
  SYS (OVLPL_SHOW) $u00200
  $u00150-00 (OFF)
ENDIF
ENDIF
  
```

\$u150-00のビット状態を確認。
OFFなら①、ONなら②を実行する。

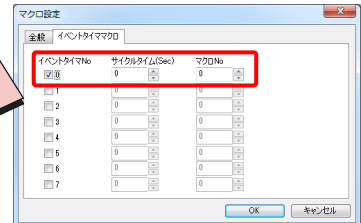
①

アラーム対象ビット(\$u100)の状態確認。
↳\$u100のビットが
ONならオーバーラップ0を表示
OFFならオーバーラップを非表示

②

アラーム対象ビット(\$u100)の状態確認。
↳\$u100のビットが
ONならオーバーラップ1を表示
OFFならオーバーラップを非表示、\$u150-00をOFF

【例】マクロブロックNo.0



2. イベントタイママクロ(システム設定⇒マクロ設定⇒イベントタイママクロ)

イベントタイマNo.にチェックを入れます。
サイクルタイム0secとして、手順1.で登録したマクロブロックNo.を指定します。

▼サンプル画面のダウンロードはこちら

http://www.hakko-elec.co.jp/mainte/data/jp/download/express/EXPRESS_1308.zip

マクロコマンドについて詳しくは『マクロリファレンス』を参照してください。

※V-SFT-5のヘルプメニューから参照できます。

次回予告 !!

次回の『マクロでひと工夫!!-Part2-』
編では、オーバーラップの自動消去をご
紹介します。

“ちょっとの工夫で大きな効果!!”をぜひ
体感してください。
次回もお楽しみに !!



【連絡先】

発紘電機株式会社

モニタタッチコールセンター

TEL : 0120-929-299

※ 携帯電話からは076-274-5130

FAX : 076-274-5208

E-Mail : gijyutsu1@hakko-elec.co.jp